

改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
26120	まちづくり計画部	都市計画課	主幹	荻野 隆	042-769-8247	
施策名	総合的な土地利用方針の確立					
施策の目的	<p>快適な市民生活の実現と都市の健全な発展のため、土地利用の骨格的構造を明らかにするとともに、地域特性を生かした土地利用の方向性を示し、限られた資源の中で、適正な土地利用を図ることを目的とする。</p> <p>都市の将来像を明示し、長期的な都市づくりの基本方針として平成11年3月に策定した「相模原市 都市計画マスタープラン」に基づき、秩序ある都市の整備、開発及び保全を図っている。</p>					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・H11.3 「相模原市都市計画マスタープラン」を策定した(都市計画課) ・H14.3 「相模原市総合交通計画」を策定した(都市交通計画課) ・H15.3 「平成12年度都市計画基礎調査 解析」を行った。(都市計画課) ・H18.3 「新しい交通システム導入実現化調査」を実施した。(都市交通計画課) ・H19.3 「相模原市都市防災基本計画策定調査委託」を行った。(都市計画課) <p>(平成18年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新都市計画マスタープラン」策定(H20策定予定)のための準備を行った <p>(平成19年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津久井地域をはじめとした市域全域において、都市計画に関する説明会を開催する。 					
評価結果 (平成17年度 実績評価)	1次評価	B	2次評価	B	3次評価	B
	3次評価での指摘事項等及び意見 (は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)					
	<p>総括的に再掲事業を構成事業とするのではなく、本施策の目的達成のために市民にとってわかりやすい事業構成に整理し、その上で、指標を設定すること。</p> <p>市の根幹をなす施策にもかかわらず、市民の重要度が低いのは課題であり、分析を行うとともに具体的な解決策を示すこと。</p> <p>土地利用の枠組みがある程度見えているならば、指標設定も用途別の土地利用状況など面的な部分で測れるような指標を設定するべきである。</p> <p>市民にとってわかりやすい「土地利用の姿」が指標として必要。</p> <p>評価結果から課題と解決策を検討するべきである。具体的に書かないと市民には理解されない。</p> <p>都市計画の業務で重点を置いているものから指標検討してはどうか。</p> <p>本施策は、道路と交通に限定して進めていくのか。面的に整備するのであれば、他の要素も必要なのではないか。</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>市民に分かりやすい指標を設定することによって、事業等に対する市民の理解を深め、協力を得られるような展開を図る。</p> <p>具体的な土地利用の状況等、客観的に判断できるデータ等を提示することとする。</p> <p>構成事務事業については、土地利用の方針実現に関する予算として発現がしにくいことから、担当部署や組織の構成人数等を加えるなどの措置が必要である。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度中に、新たな指標設定を行う。 平成20年度中に、市民の重要度に関する“低さ”の分析と解決策を検討を行う。 		
	具体的な改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 指摘を受けた成果・活動指標について、これまでに実施している調査等の中から選定する。 指摘を受けた重要度に関する分析等については、平成19年度～20年度に開催される地域協議会での話し合い等を通じて実施する。 		
	成果指標の設定	実施の時期	平成19年度末までに	
		<p>都市計画基礎調査の総合評価における「類型タイプ別地区特性」(市街化区域)のうち、良好な市街地環境を有する地区の割合 (旧相模原市市街化区域を370ゾーンに分割し、評価を実施している)</p> <p>都市計画基礎調査の総合評価における「類型タイプ別地区特性」(市街化調整区域)のうち、人口が急増し開発動向が活発な地区もしくは都市的土地利用が進んでいる地区で人口が増加している地区の割合(旧相模原市市街化調整区域を129ゾーンに分割し、評価を実施している)</p>		
	目標値の設定	実施の時期	平成19年度末までに	
<p>都市計画基礎調査の用途混在類型のうち、混在地区(小ゾーン)の解消を目標値とする。 (旧相模原市内499ゾーンに分割、ゾーンごとの評価に基づき設定)</p>				
改善結果	構成事務事業の見直し及び重要度に関する分析・解決策	実施の時期	平成20年度末までに	
	<p>構成事務事業については、より客観的な比較等が可能であり、かつ、施策実現に向けて効果的であると考えられる項目(予算項目以外の項目を含む(例えば人員配置等))の設定を行う。</p> <p>市民の重要度に関する関心の低さの分析等については、平成19年9月から「新総合計画」及び「新都市計画マスタープラン」策定のための地域協議会(22地区)への出席や都市計画説明会を開催することから、こうした場を通じて情報収集を行うとともに、話し合いの場を通じて、まちづくりの現状等の周知や認識に関する分析を行い、これに対応する解決策を検討する。</p>			
改善結果	改善目標の達成状況			
	評価及び今後の取組方針等			